

「東京真田町の会」会報

日本タボス

令和3年(2021年) **12月21日**



下大日向中島地籍の圃場（奥の左は角間溪谷と稜線へあがり、奥の右は神川の河岸へ）

ああ～ふるさとのかほりよいついつまでも～
さなだから初秋便りにのせて

写真提供：大日向そば活性化組合（代表一之瀬 勤）

「日本ふるさとづくり大賞」団体賞受賞、令和3年1月28日

NO.

34



① 第14回新そば祭りのそば会員とサポーターの皆さん (2020年12月)

② そば畑風景 (圃場の中央より山間の大日向方面を望む)



③ ふるさと大賞受賞式



④ ふるさと大賞市長表敬訪問



⑤ 大日向新そば祭会場風景



⑥ 真田の郷新そば祭り出店風景 (ゆきむら夢工房広場)

「東京真田町の会」のホームページを探すときは、キーワードとして括弧「」内の文字で検索して下さい。検索にかからない場合は <http://fukamachi1129.ec-net.jp/sanadamachi/> をご使用ください。



一	表紙 くあゝふるさとのかほりよ・・・	編集部	一
二	ふるさと大賞受賞(写真)	大日向そば活性化組合	二
三	もくじ		三
四	ごあいさつ	会長(傍陽出身) 金子 誠	四
五	人と地域をつなぐ持続可能なまちを目指して	上田市市長 土屋 陽一	五
六	コロナ禍を克服し魅力ある地域を目指して	上田市議会議長 土屋 勝浩	六
七	地域が支えあう持続可能な真田を…	真田地域自治センター長 櫻井 浩	七
八	安心して暮らせる故郷をめざして	上田市議会議員 古市 順子	七
九	故郷より	上田市議会議員 佐藤 論征	八
一〇	未来への懸け橋ー上田電鉄別所線全線開通ー	上田市議会議員 齊藤加代美	九
一一	協同組合の役割発揮	信州うぐい農産協同組合代表理事組合長 眞島 実	一〇
一二	日本ダボス発行に寄せて	信州うぐい農産協同組合眞田地区理事 北島 一博	一一
一三	開業100周年を迎えた別所線で塩田平の日本遺産を巡る旅		
一四	ふるさとに元気を	上田市交通政策課 山田 晃一	一二
一五	活力があり魅力あふれる故郷に	大日向そば活性化組合(大日向在住) 一之瀬 勤	一四
一六	武捨衛人先輩を偲んで	眞田の郷まちづくり推進会議会長 坂口 純一	一五
一七	武捨衛人さんを偲ぶ	(下横道出身) 堀内 福	一五
一八	傍陽で巡り合ったへび・伊勢で巡り合ったへび	理事(大日向) 一之瀬和夫	一六
一九	ふるさと真田町からのいただきもの	(萩出身) 杉村 房枝	一八
二〇	眞田の思い出	(下横道出身) 安森 尚美	一八
二一	眞田の思い出	(愛知県在住) 堀内 勇	二〇
二二	会員皆様の近況		二一
二三	東京丸子会総会・懇親会報告	会長 金子 誠	二五
二四	令和2年度会務報告・令和2年度決算報告		二六
二五	令和3年度事業計画・令和3年度収支予算		二六
二六	東京真田町の会役員名簿		二七
二七	ご芳志御礼		二七
二八	会員消息・次回総会の予告・編集後記	会長 金子 誠	二八
二九	地域自治センターだより さなだ(表紙写真抜粋)	編集部 誠	二八
三〇	写真(別所線復旧模様・始発列車出発式・開通セレモニー)	編集部	二九
三一	写真(会員からの季節絵手紙)、第15回大日向新そば祭り	編集部	三〇

（あいさつ）

会長 金子 誠（傍陽）



今年も残り僅かになりましたが皆様におかれましては健やかにお過ごしのことと拝察申し上げます。

新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言が解除されたのは先月の九月三十日でした。その一か月後の十月三十一日にこの挨拶文を書いております。

英国やロシアなどで感染者が増加しているのですが、日本国内では減少傾向が続いています。これから年末年始の帰省や旅行など人の活発化をむかえて、専門家は「第六波」への警戒を引き続き求めています。

第五波でピークアウトが予想外に早かったことの解明は今後の研究に待つとして、高齢者を中心に行われたワクチン接種の効果が指摘されています。

感染症対策を助言する専門家組

織（厚労省）の分析では「多くの市民、事業者の感染対策への協力、およびワクチン接種率の向上などにより全国的に新規感染者数の減少が続いた」から、と報じています。

内閣官房によると、全国民のうちワクチンの二回接種を終えた人は、十月二十九日時点で七一・二％。特に重症化しやすい六五歳以上の高齢者の接種率は九割に達しました。接種着手を遅くした現役世代も四〇歳代で七割、五〇歳代で八割の人が接種を済ませています。

政府の「基本的対処方針分科会」では第五波での感染者が急減した状況を次のように報じています。

「感染者が急増したのと同時期にコロナのワクチン接種者が増えたこと、ワクチン接種後しばらくの間は抗体価（抗体の量）が高いことで、感染予防効果が良好であったことにある。それにマスク掛けの行動と外出自粛の相乗効果も大きかった。」と指摘しています。

ウイルスの感染力が強くなる環境は低温であることに加えて低湿度であるといわれています。この冬場は念入りに予防しましょう。

ややコロナ慣れしてきた私達もここでリセットして、感染予防の基本を実行し日常生活を築きましよう。感染しない、人に感染させない行動をとり続けることが大切であると再認識した次第です。

一 今年度の主要な

報告のまとめ

（一）第三四回総会・懇親会の延期とさらなる中止のお知らせ

しらかば通信 No. 26 でお知らせしましたが、新型コロナウイルス感染の拡大により、先に見通しのたたない未曾有の事態のため、五月一六日（日）を中止し十月三日に延期しました。

（二）令和三年度十月三日の第三四回総会中止に伴う議案のお願いと表決結果の報告

しらかば通信 No. 27（臨時号、8月10日付）のご案内では、四議案の表決をいただきたく、郵送で回答くださるよう会員130名の皆様にお願ひしました（九月十日締切）。

そして、第一号議案から第四議案の表決では七十一名の皆様から出席をえて、その皆様全員から賛意（一〇〇％）を頂きました。よって、本議案は可決（注）しましたのでここに報告いたします。

皆様のご協力に厚く御礼申しあげます。

（注）参考…会則「第九条三項総会及び理事会の決議は、出席者の過半数をもって決する」となっております。

（三）令和四年度第三十五回総会・懇親会のお知らせ

次のように予約しております。

期日 令和四年五月十五日（日）
会場 アルカディア市ヶ谷（私学会館）六階（霧島）

この詳細をつぎのしらかば通信 No. 28 でお知らせします。二年ぶりの開催であり、なつかしい友との再会が待たれます。

さらに、ふるさとからお見えになる来賓皆様方との交流や懇談は貴重な機会となります。ともに健康を分かち合いましよう。

（四）今年度の理事会と諸行事

第一回理事会を令和三年六月二十五日（日）、遠隔で行いました。遠隔会議が主流になってから一年後に Zoom で初挑戦しました。以降の第四回までについては会務報告書をご覧ください。諸行事の開催はありませんでした。

第4回理事会
(2021年11月7日の模様)



二 今後の重要課題

（一）会員の推移状況

発足当初の平成一年以降における推移の概略については先の33号（5ページ2段目）をご覧ください。

会長金子宛に次に紹介する事務連絡が届きました。

今後、本会の活動を検討する際の基礎となりますので至急皆様にご要旨をお知らせします。

日付・上田市秘書課・真田地域自治センター（地域振興課）発の「意向調査」。

これを次のへゝ罫みに示します。

（標記の件につきましては平成一八年の市町村合併に当たり、新生上田市発足後、旧上田市、丸子、真田、武石のそれぞれのふるさと会についても組織統合を促進すべきか検討することになっておりました。

合併の後、十五年が経過したことから、合併協議での検討事項について結論を出したいと考えています。

三団体の組織統合の可否についてお考えをお聞きたいことから今回の意向調査は、あくまで組織

統合の可否の確認とさせていただ
く趣旨であること、また、調査結果
により各会への補助金の減額等を
検討するものでないことを申し添
えます。

このような秘書課からの問合せにたいして、現在、当会といたしましては、「統合」に前向きに考えておりますのでお知らせいたします。

向けた取り組み

当会の運営基盤を構成するものは会員皆様の年会費、上田市からの補助金、広告料、および会員皆様の寄付金であります。

会員皆様で今年度の年会費未納方がおいでしたら、おそれいりますが納入下さいますようお願い申し上げます。

当会の運営の基本姿勢は「会員とともにある東京真田町の会」であります。その中で、会員相互の心のつながり、結びつきを大切にしておいてそれを深めていくこそが活動そのものである。

そして、本会はふるさとに向け
ては真田町、および上田市の最大
の理解者としてあり、内では「真田
町、上田市と東京真田町の出身者
を結ぶ心の架け橋」としての役割
を果たしつつ、「会員になつてよか
った・」と感じて頂けるような魅
力ある会を目指し、引き続き皆様
からのお知恵を仰ぎ、鋭意努力し

たいと思っております。

今後とも理事及び会員の皆様方のご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。

結びに、会員ならびにご家族皆様の健康とご多幸を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

※お悔やみのお知らせ

武捨衛人様（八十五歳）は令和二年九月六日逝去されました。

役職歴…理事十三年間の長期にわたり会誌と会報の編集にあたられました。武捨様には本会の発展のため多大なご尽力を賜りありがとうございました。

当会を代表して心からご冥福をお祈り申しあげます。

11月11日] [原稿] 依頼 2021年10月5日、入稿

人と地域をつなぐ

持続可能なまちを目指して

上田市長 土屋陽



東京真田町の会の皆様には、御健勝で御活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度も、停滞する前線や低気圧等に伴う局所的な豪雨の影響により、全国各地で河川の氾濫や土砂災害などの大規模災害が相次いで発生しており、上田市においては、人的被害はありませんでしたが、依田川で護岸の一部が崩落したほか、市内各所で土砂崩れ等により市道や林道、農地などに被害が発生いたしました。災害対応に御協力いただいた皆様に深く感謝いたしますとともに、引き続き関係機関や地元関係者と連携を図りながら、被災箇所の一刻も早い復旧に向け鋭意取り組んでまいります。

こうした中、避難所における感染症対策を講じた訓練の実施や、避難所運営能力の向上に努めるとともに、防災用備蓄品の充実を図ってまいりました。

今後は、新たに稼働した上田市総合防災情報システムを活用し、災害情報の共有や迅速な避難情報の発令、避難所運営の円滑化に取り組むとともに、引き続き自主防災組織や防災関係機関等と連携して、災害に強い安全・安心なまちづくりを進めてまいります。

さて、十月末時点での市内の新
型コロナウイルスの感染状況です

が、7月16日以来約3か月ぶりに県独自の警戒レベルについて、上田圏域の感染警戒レベル1(平常・落ち着いている状態)に引き下げられました。改めて市民の皆様、生活を支える全ての皆様のご理解とご協力に感謝する次第です。年末年始を迎えるにあたり、引き続き気を緩めることなく、感染予防の徹底を、市を挙げて進めてまいります。

また、コロナ禍における地域経済の支えと、雇用の確保に関する取組についてですが、新型コロナウイルス感染症を警戒しながらの経済活動にならざるを得ず、今後感染が再拡大するような状況下では、観光や飲食等のサービス業を中心に、今後も厳しい経営環境が続くことが見込まれます。

このような中、上田市のワクチン接種も他市と比較しても順調に進捗しており、人流の再開や経済の回復を見据え、市内の商店、飲食店及び宿泊施設などでの消費喚起応援事業を昨年度に続き実施することとしました。加えて、工場増設に向けた用地取得、起業やサテライトオフィス開設など明るい動きもでてきており、これらの事業に対する補助金についても予算計上しております。

また、感染収束後の観光需要の回復を見込み、今後の誘客促進に

積極的に取り組んでまいりたいと考えており、その取組のひとつとして、首都圏において当市の魅力ある観光資源を広くPRするため情報発信の拠点(アンテナショップ)を開設するための経費を計上いたしました。

今後も引き続き、コロナ禍で疲弊した地域経済の再生を図るため市民の皆様と心をひとつにし、各種施策に全力で取り組んでまいります。また、東京真田町の会の皆様におかれましても、今後のアンテナショップなどを通じて、ぜひ皆様には、ふるさと上田市を温かく見守っていただき、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会の皆さまの御発展と金子会長はじめ会員の皆様の御多幸を心から祈念し、会報「日本ダボス」に寄せるあいさつと致します。

【原稿】依頼 2021年9月28日、入稿11月2日

コロナ禍を克服し魅力

ある地域を目指して

上田市議会議長 土屋 勝浩

東京真田町の会の皆様におかれましては、日頃からひとかたならぬご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。



上げます。

例年、私も上田市議会の議員をお招きいただいております。東京真田町の会総会におきましては、昨年は新型コロナウイルスの感染予防から中止となり、今年は「ぜひ」期待していたところでございますが、願い叶わず皆様とお会いすることができませんでした。全国的に新型コロナウイルス感染が進むなか、発出されていた緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が全都道府県で解除され、皆様におかれましては、WITHCORONA時代として新しい生活様式のもとに日常が戻りつつあるのではないのでしょうか。上田圏域では、10月中旬には感染警戒レベル1に引き下げられ落ち着いた状態が続いています。市ではコロナ禍の影響を大きく受けた皆様を支援し、社会活動を再開させていくため、感染防止対策に徹底を図りつつ、外出や会食・宿泊など市内における社会経済活動の活性化を呼び掛けています。今後、感染拡大の第6波を警

戒しつつ、日常の活動を取り戻すため新型コロナウイルス感染症の早期の収束を願うばかりでございます。

そんな中、ふるさと真田地域では明るい話題が飛び込んでまいりました。(28及び2ページ参照)

昨年、プロ野球阪神タイガースからドラフト指名を受けた本原出身の高寺望夢さんの入団が発表され、真田地域からプロ野球選手が誕生しました。また、大日向そば活性化組合が「令和2年度ふるさとづくり大賞」の「総務大臣賞」を受賞しました。この「ふるさとづくり大賞」は、全国各地でふるさとをより良くしようと頑張る団体・個人を表彰するもので、真田地域の個性を生かした、誰もがいきいきと暮らせる魅力あるまちづくりの取組の成果として評価されたものと推察しております。コロナ禍中であって、これらの朗報は、ご本人や関係者の努力もさることながら、ここに至るまでの地域づくり・ふるさと意識の醸成と取組の成果であると考えています。これまでの関係各位のご尽力に深く感謝申し上げますとともに、今後、地域全体で支え合い、輪を広げ、一丸となってこのコロナ禍を克服し、ますます真田地域の個性を生かした、誰もがいきいきと暮らせる魅力あるまちづくりの推進に期待申し上げます。

ところでございます。市議会とい
たしましても、市民の皆様と一緒
に取り組みを考えてまいります。
結びに、市民の皆様期待され
る上田市議会として更なる研鑽に
努めてまいりますので、東京真田
町の会の皆様の変わらぬご支援を
よろしくお願い申し上げますと
もに、東京真田町の会の益々の発
展と会員の皆様のご多幸をお祈り
いたします。

【原稿】依頼 2021 年 9 月 28 日、入稿 11
月 2 日

地域が支えあう持続

可能な真田を目指して

真田地域自治センター長

櫻井 浩



東京真田町の会の皆様には、お
健やかにお過ごしのこととお喜び
申し上げます。

また、三十年以上の長きにわた
り会の運営、発展のためご尽力賜

りました役員の皆様並びに会員の
皆様に、改めまして敬意を表する
とともに、深く感謝申し上げる次
第でございます。

はじめに、新型コロナウイルス
感染症についてですが、ワクチン
接種がここ上田市でも順調に進ん
でおり、罹患者数も十月末時点で
市内発生がほとんどない状況が続
いております。しかしながら、夏ま
での菅平高原での合宿などは、首
都圏の緊急事態宣言とも重なり、
引き続き大変厳しいものでした。

一方で、10 月末には女子ラグビ
ーワールドカップに向けた日本代
表強化選手などの事前合宿が行わ
れたり、冬のスキー合宿の予約が
順調に進んでいたりと、明るい話
題や持ち直しの兆しが見えており
ます。いずれにいたしましても、地
域との連携を密にし、菅平高原の
魅力を力強く発信し、長期的な支
援を継続して進めてまいります。

また、一昨年の令和元年東日本
台風では真田地域に大きな被害が
及び、東京真田町の会の皆様から
の温かい支援をいただきましたこ
と、改めて御礼申し上げます。現在
の真田地域の災害復旧状況ですが、
河川頭首工など主に農地などに関
わる施設の復旧の進捗中であり、
地域の皆様が一日も早く安心して
暮らせるよう、引き続き進めてま
いります。

さて、住みやすい真田地域のた
めに、本年度の真田地域協議会
は地域に根差したテーマをもとに、
その課題や発展的な在り方につ
いて調査研究を行っていただい
ています。地域の課題を地域がとらえ、
議論するという動きが進んでいま
す。

こうした中、住民が連携してま
ちづくりを行う住民自治組織であ
る、「真田の郷まちづくり推進会議」
が今夏、「夏休み自由学習室・わく
わく体験学校」という、地域の子ど
もたちの居場所をつくり、コロナ
禍の中でも地域で思い出作りをし
てもらうことを趣旨とした事業を
実施されました。大変人気のある
事業とのことで、地域に子どもた
ちの声が溢れ、地域での楽しい思
い出が郷土愛をはぐくむ、大変素
晴らしい企画と感じています。

地域に住む人同士が関わり合い、
支えあう地域であることが、持続
可能な真田地域を作っていくもの
と信じ、行政としても活力あるま
ちづくりが進められるよう連携、
支援に努めてまいります。

会員の皆様には現況を御理解い
ただき、引き続きふるさとのまち
づくりにお力添えを賜りますよう
お願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会並びに
会員の皆様益々のご発展とご健
勝をご祈念申し上げ、ご挨拶とさ

せていただきます。

【原稿】依頼 2021 年 9 月 28 日、入稿 11
月 1 日

安心して暮らせる

故郷をめざして

上田市議会議員 古市順子



今年の夏はコロナの感染爆発、
医療崩壊といわれるような状況で
東京都には緊急事態宣言も長期間
発令され、会員の皆さんは、昨年
にも増して大変な思いで過ごされ
たことと思います。

長野県でも一時は自宅療養者が
400 名を超え、感染者総数の 40% 弱
となりました。上田地域では、感
染症指定医療機関である信州上田医
療センターを中心に、感染者を受
け入れていただきました。医療セ
ンターでは令和 2 年度は 122 名、3
年度は 8 月末で 92 名でした。また
医師会のご協力で、発熱外来、PCR
検査、ワクチン接種が実施されま

した。今のところ感染は減少していますが、第6波への警戒も必要とされています。各々ができることをしていきましょう。

コロナ禍は改めて、地域医療体制について考える機会となりました。中核病院の信州上田医療センターの医師数は以前と比べ大分増えています。まだ足りないとお聞きしています。特に救急医療体制が弱く、医師数も少ない状況です。私は昨年度から、市議会厚生委員会の委員長を務めています。委員会の重点課題の一つとして、救急医療体制の充実に取り組んでいます。「信州上田医療センター」との懇談も行い、国、県、市に意見書を提出したいと準備中です。

台風19号から丸2年が経ちますが、真田町ではまだ河川改修があちこちで行われています。高屋の沢から渋沢川にかけて大きな被害がありました。大規模な砂防ダムが造られています。四日市橋のすぐ上流は、きれいに改修が済んでいます。四日市団地が隣接する下流の工事は続行中です。今年のお盆は長雨で神川も増水し、団地の方は「心配で毎日見にきた。」という方も複数おられ、私にもご相談がありました。そこで県建設事務所整備課に工事説明会をしていただきたと依頼し、10月26日に行われました。工事の概要は「崩

落した左岸の河岸の復旧、異常洗堀により深掘れした河床の安定を図るため床止め工を7基設置する。(現在1期済)工事費は約2億6千万円。工期は今年度中とのことでした。現地で住民の方から活発な質問がありました。

コロナ禍は、観光・宿泊業にも大きな影響があり、菅平高原でも今年の夏までに大変な打撃を受けています。現在、今年の冬のスキー合宿に約400校の予約があると聞きしています。このまま感染が減少し、キャンセルとならないよう祈るばかりです。

向寒の折、会員の皆様にはご自愛ください。またお会いできる日を楽しみにしております。

【原稿】依頼 2021年9月28日、入稿10月31日

故郷より

上田市議会議員 佐藤論征



東京真田町の会の皆様におかれ

ましては、益々ご健勝、ご活躍のこととお喜び申し上げます。

本年も、昨年に続き新型コロナウイルス感染症の影響により総会への参加が二年続けて叶わず、皆様にお会いする機会がなかったことと大変残念でならないところでございます。

さて、一昨年十月の令和元年東日本台風の後、東京真田町の会の皆様のご支援の活動のきっかけともなった「ふるさと訪問」で目の当たりにされた上田電鉄別所線の鉄橋一部崩落につきまして、お陰様をもちまして復旧作業が終了し、令和三年三月二十八日におよそ一年五カ月ぶりに全線で運転を再開いたしました。真田地域につきましては、全ての災害箇所の復旧には至っておりませんが、東京真田町の会の皆様のご支援のお陰もあり着実に復旧が進められているところであります。

あらためまして、東京真田町の会の皆様のご支援に深く感謝申し上げます。

また、この一年間での上田市の大きな動きといたしましては、上田市本庁舎が本年四月に竣工し、五月より新本庁舎で執務が開始されました。防災拠点として機能が充実されるとともに、環境にも大変配慮した機能的な庁舎となりました。議場も新議場となり、令和三

《広告欄》

(有)上原重機

クレーン作業は懇切丁寧に定評のある上原重機
へご相談下さい

Rough terrain crane/TADANO

25t/10t/7t/5t

吊上げ：鉄骨・鉄筋・住宅・

庭園(庭石・植木)・その他一般

〒389-0505 長野県東御市和 1086-1

TEL 0268-36-2369 FAX 0268-35-0502

上原重二・恵子 (大日向出身旧姓一之瀬)



東京真田町の会

北本市都道府県人連合会

長野県人会

会長 金子 誠
(田中出身)

〒364-0035 埼玉県北本市西高尾 4-156

☎048-591-4728

年六月定例会より新議場で議会が開催されております。これに合わせ議会では、議員ひとりひとりにタブレットが導入され、ペーパーレス化を図るとともに審議の際にあらゆる資料が閲覧できるなど機能が強化されました。新議場においては、傍聴席からも議員の顔が見られるように傍聴席が議長席から向かって左に配置されました。東京真田町の会の皆様にも、機能的になった議会を是非とも傍聴いただければ幸いに存じます。

この原稿は十月に作成しておりますが、十月時点では急激に新型コロナウイルス感染症の拡大が収まりつつある状況ではありますが、拡大が収まっている要因も明確でなく今後どのような状況になるかわからないところではあります。今後収束に向かい安心して帰郷いただけるような状況になりましたら、故郷の姿を実際にご覧いただければ、故郷をお預かりする私どもといたしましても、幸いに存じます。皆様の帰郷を心待ちにしております。

結びに、来年こそは、総会で皆様とお会いできることを心待ちにし、東京真田町の会の益々のご発展と会員の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げ、第三十四号「日本ダボス」発行にあたりご挨拶とさせていただきます。

「原稿」依頼 2021年9月28日、入稿10月31日

未来への懸け橋

上田電鉄別所線全線開通

上田市議会議員

齊藤加代美(旧姓倉島・本原出身)



令和3年3月28日、令和元年東日本台風(19号)で災禍をうけた復興のシンボル「赤い鉄橋」を通過している電車の姿がNHKで放送されたのをご覧になりましたか。

そして、崩落の直後から復旧に向けた動きが興るや、市民や全国の方々に支えられた。地域の皆さんの熱い思いで署名活動が始まり、全国からのご支援(上田市ふるさと納税別所線応援プロジェクト・上田電鉄への寄付金は総額約1億円)や、松任谷由美さん、さだまさしさんなど多くの方々から届いたメッセージ「がんばれ!別所線」など、100年の歴史に刻まれた、本当大切な

「赤い鉄橋」であることもさらに実感し、喜びの日となりました。開通セレモニーの舞台になったのは千曲川左岸で崩落した鉄橋側でした。

鉄橋入口の踏切内に停車した開催特別記念列車を背に、赤羽国土交通大臣および阿部県知事も参加されて式典は挙行了されました。



令和3年3月28日 喜びの中を渡り初め

そして、鉄橋を渡ったのは11:30ごろ。赤い橋の右岸からは祝旗、カラフルな傘や横断幕で、千曲川からはカヌーで、思い思いの祝福を送ると、「ガタンゴトン♪」汽笛で応え、喜びの通過を披露してくれました。

☆☆☆☆
約2年前、崩落のその瞬間、私は、忘れもしません。2019年10月の台風

《広告欄》

東京真田町の会

顧問 小林 孝雄
(曲尾出身)

〒234-0051 神奈川県横浜市港南区日野 4-45-5
☎ 045-349-2084

東京真田町の会

副会長 深 町 共 榮
(田中出身)

〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西 5-7-82
〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 825-7
☎ 090-7225-6491

19号が去った翌朝、別所線の赤い橋で親しまれる「千曲川橋梁」の一部崩落が速報されました。私の住む丸子地域の被害も尋常でなく、早朝に避難所周りをし、丸子地域自治センターで待機をしていた8:10頃、TVで赤い鉄橋が濁流にのまれ崩れ落ちるシーンが・信じられない光景に言葉を失いました。今でもスローモーションのように、その時のシーンを覚えています。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆
念願の復旧成就を祝いつつも、さらなる公共交通の持続可能な在りかたを進めるスタートの日ともなりました。

すなわち、上下分離方式(注)により、市の保有は鉄橋を含んだ区間となります。自治体が覚悟をきめた全国でも珍しい鉄道の運営方式となりました。

千曲川橋梁の復旧事業費には約8億8300万円を要します。費用については、実質的に国が97.5%を負担する「特定大規模災害等鉄道施設災害復旧事業費補助」を活用することになり、上田市は被災した橋梁部分を保有し、国庫補助事業の事業主体となることが条件であり、これによって鉄橋は市の保有になりました。以前から市は上田電鉄に国・県・市の補助を含め年間約9000万円を支出しております。

で、さらなる補填が必要になった別所線ということになります。

復旧後に「V字回復した奇跡の鉄道」と称される鉄道会社を目指します。そのためには、皆様が帰郷の折には、また旅友がたにもぜひ別所線を利用されるよう勧めていただきたくお願いします。

この地が日本遺産に認定されたのは令和2年6月でした。そのキヤッチフレーズ「レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」」でゆつたりと、龍と生きるまち信州上田・塩田平の旅をお楽しみください。上田で皆さまをお待ちしています。

☆ ☆ ☆
全線開通を機にこの沿線地域では別所線を盛りあげようと、上田電鉄別所線100周年と日本遺産を組み合わせて、さまざまな催しが企画されています。特に今秋は上田東ロータリクラブの主催による「案山子だよ♪全員集合!!」みんなで作ろう案山子プロジェクトが始動しました。140体の様々な案山子が沿線に登場し、県内外から多くの観光客が訪れていました。この模様はNHKニュースの全国放送で3度に渡り放送されました。10月24日は「別所線貸切電車で行く案山子ツアー」に参加しました。これは生れて初めて乗った貸切電車でした。車内案内で活躍し

たのは上田女子短期大学の別所線ガイドボランティアチームで、案山子群のあいだをゆつくりと鑑賞速度ですすむなんて、なんとも贅沢なツアーでした。

おどろきました。このコーディネートは前上田市長母袋創一さんでした。流石に氏の気配りにナルホドと思わず頷いた次第です。まだまだコロナウィルス感染症に油断は禁物の昨今です。一日も早い終息を願い、皆様のご健康とご健勝をお祈りいたします。

「編集部謝辞」編集部は齊藤加代美様をお願いして別所線の復旧と祝賀模様をふるさから報じて頂きました。要望を快くお受け下さった齊藤加代美様ありがとうございます。

(注) 上下分離方式とは、鉄道・道路・空港などの経営において、下部の基盤構造(インフラ)の施設管理と上部の運行・運営を行う組織を分離し、両者の会計をそれぞれ独立させて運営する方法をさします。
【原稿】依頼 2021年9月28日、入稿 11月21日

協同組合の役割発揮

信州うえだ農業協同組合

代表理事組合長 眞島 実

東京真田町の会の皆様におかれ

《広告欄》



土木工事 解体工事 測量 造園 除雪

株式会社山崎商會

代表取締役社長 山崎 勇治

〒386-0002 長野県上田市住吉 1039-2

TEL 0268-24-6221 FAX 0268-27-7558

e-mail : yamazaki_shyoukai@yahoo.co.jp



山崎公認会計士事務所

Yamazaki CPA Office

公認会計士 / 税理士 山崎 友揮

(長野県上田市住吉長島 出身)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-12-7 MSビル 6F

tel. 03-6272-6539 fax. 03-6272-6765

e-mail. yamazaki@yy-cpa.com

ましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、信州うえだ農業協同組合の事業運営・地域貢献活動にご理解とご協力を賜るとともに、信州うえだの農畜産物をご愛顧いただき心より御礼申し上げます。



当JAは、上小地域の7農協が合併し今年で27年目を迎えました。この間、地域農業を支える農家は高齢化が進み農業後継者など担い手減少に加え、コロナ禍で、農畜産物の需要が減退するなど地域農業とJAを取り巻く環境は年々厳しさを増しております。

このような環境下で、JAの強みである総合力を発揮し、将来にわたって農業振興や地域活性化に貢献するため、成長戦略による効率化に取り組み経営体質の強化を図っております。

また、多様化する組合員、利用者のニーズに応えるため思い切った経営改革をすすめ、これからも組合員、地域の皆様に親しまれるJA

であるために、役職員一丸となつてより質の高いサービスの提供に取り組んでまいります。

さて、昨今の地域情勢は、新型コロナウイルスによる行動自粛で、農畜産物の消費減少を含む経済の低迷、さらに伝統行事や催事、活動、仲間との集いも自粛を余儀なくされ、地域のつながりや活気が戻るにはまだ時間がかかると思われます。

このような状況下でも、10月には地元農産物の消費拡大や生産者と地域の皆様が交流できる場として、上田市真田町の直売所「新鮮市真田」で「真田地区感謝フェア」を開き好評をいただきました。

菅平地区を中心とした高原野菜は、標高差を生かしたリレー栽培の拡大や生産者と一体となった品質管理を進めることで、全国の市場でも高評価をいただき、当地域のブランド力を発揮しております。また、当JA女性部真田支会では、活動自粛で会えない部員がそれぞれにミニヒマワリを栽培し、その成長を見守ることで互いの気持ちがつながっていることを実感し、ヒマワリの花で地域に元氣と笑顔を届けたいと「仲間の笑顔プロジェクト」を企画し取り組んでおります。

これからも地域に根ざした協同組合として、組合員をはじめ地域

の皆様が安心して暮らせる豊かな地域社会を築くため、「持続可能な農業の実現」と「食と農を基軸とした共同組合の役割発揮」を目指し取り組んでまいります。

今後ともご支援、ご協力を賜れば幸いに存じます。

結びに、貴会の更なるご発展と会員各位のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、本会報「日本ダボス」に寄せるごあいさつとさせていただきます。

【原稿】依頼 2021年9月28日、入稿11月8日



やまゆり

日本ダボス発行に寄せて

信州うえだ農業協同組合真田地区

理事 北島一博



《広告欄》

菅平まんじゅう
製造、販売

かんせいえん
菅清園

地酒・地ワイン・地ビールも揃えております

菅平高原 菅清園 TEL: 0268-74-2525 Fax: 0268-74-2655

真田町は今ようやく紅葉の盛り、今年はずっと渋みのある美しさに包まれていまして唐松の紅葉が美しい年となったような気がします。年々暖かい日が遅くまで続くようになりまして離層(注)ができないままに霜に当たってしまい、葉の縁が枯れてしまっているためです。

お会いできなくなつて早二年、年月の経つことの早さを感じるこの頃ですが皆様健やかにお過ごしのことと存じます。

また無事会報が発行されますこと誠におめでとございます。

今は稲刈りが済んで美味しいふじ収穫の真つ盛り、知っていますか、今収穫されている貯蔵用白菜のとても甘くてやわらかい事を、そんなふる里真田町です。

世の中を変えていくために必要な若者人口がこの町からどんどん減っているように感じます。温故知新とよく言われます。そして十年一昔、便利と楽を求めて文明は発展してきましたが我々はこれからどこへ向かうのでしょうか。

農業を見振り返ってみますと今年の天候も荒れに荒れまして四月の低温というよりは寒気が居座り多くのリンゴの花やつぼみを痛めつけ収穫量を落としてしまいました。また七月の梅雨の曇天長雨により花卉は花芽がつきづらくな

りました、が夏の葉物野菜は低温のおかげで痛みが少なく豊作貧乏のところが一転して盆の三日間続いた大雨で野菜は痛み始めて暴沸しました。その後もすつきりしない天候により稲を刈り取ってみれば作況指数96のやや不良。

地球温暖化と言われながらも1993年(平成5年)のような大冷害がいつ起きても不思議では無いと思わせるような なんと天候に振り回された一年となりました。

観光業はと見てみますとコロナの影が色濃く、緊急事態宣言が解除されそうだとなくなつてきますと、合宿客の予約が結構入りましたが緊急事態宣言が再び発出されると一斉にキャンセルの繰り返し。この冬のスキー学習などの予約もかなり入っているようですが、また緊急事態宣言が発出されれば総てキャンセルとなる、と感染者がかなり減ってきているにもかかわらずオーナーは暗い顔ですがどこかに突破口はあるはずで。負けてばかりはいられません。

農家は安心安全で天候に負けな技術と土作りを目指し、観光業者は安心安全と快適を目指してこの状況を少しでも改善していこうと模索を続けています。

皆さんももっとつながりを太くして、そのつながりに大勢の人の輪を巻き込んで真田町のファンを

皆さんと共に増やしていきたいのです。

私たちJA信州うえだもそのお手伝いをして参りたいと考えています。

とりとめも無い話ばかりになつてしまいましたが、このような機会を持たせて頂きましたことに感謝申し上げますとともに、「東京真田町の会」のますますのご発展と、会員皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

(注) 生物学の用語…葉が落ちる前に葉柄に生じる特殊な細胞層のことを離層と称す。数層の細胞膜がゼラチン状に膨らんで互いに離れるか、中央の層が粘液化して離れる部分で、落果・落花の際にも柄にみられる。

編集部

【原稿】依頼 2021年9月28日、入稿10月31日

開業100周年を迎えた別所線で

塩田平の日本遺産を巡る旅

上田市交通政策課 山田晃一

東京真田町の会の皆様におかれましては、お元気でお過ごしのことと拝察いたします。昨年に続き、金子会長から別所線の災害復旧に関する寄稿の御依頼を頂戴しましたので、これまでの経過や復興の取組状況について次に紹介します。

(復旧の進捗状況と祝賀の様子は29ページへ掲載しています。)



著者山田晃一(左)と宇川慎一郎(右)さん

令和3年3月28日別所線全線開通セレモニー

令和元年東日本台風(19号)により千曲川橋梁が崩落してから、上田市が鉄道施設を公有化して災害復旧を図ることとなった経緯は、前号でお伝えいたしました。

復旧工事及び代行バスの事業実施にあたり、国・県行政機関や議員各位、施工会社・バス会社の皆様には、多大なる御尽力を賜るとともに、市民・利用者、別所線を愛する皆さんの早期復旧を願う数多くの声や熱い想いを受け止めて、532日間、上田市及び上田電鉄は、復旧に向けて全力でひた走り続けました。3月28日、無事に全線開通の日を迎えることができたのも、御支

援いただいた全ての皆様のおかげであり、この場をお借りして、心より深く感謝申し上げます。

☆☆☆☆

さて、昨年12月18日、100日前からのカウンtdown企画スタート以降、工事を安全かつ順調に進めることはもとより、全線開通セレモニーに向けた準備のため、関係者は、夜を日に継いで業務に邁進する日々を送っていました。

そのような中、赤羽国土交通大臣が公務日程を変更し、式典に参加されるとの一報が入ったのは、既に式典計画がほぼ確定していた3月22日。

重要な現職閣僚ですから、SPが四六時中警護に当たることとなります。長野県警とは、大臣がJR上田駅に降り立ってから、式典会場の千曲川堤防道路や上田東急REIホテルの動線を全てチェックし、警備計画の策定に追われることになりました。加えて、県内で新型コロナウイルス感染症が拡大しつつある中、急遽ホテル会場の座席配置を全て変更、また関連イベントの中止や縮小の連絡調整など怒涛の1週間となりました。

☆☆☆☆

こうした裏方の事情はさておき、式典当日は、早朝から地域住民や鉄道ファンの皆さんは「全線開通を一緒に祝いしよう」と、熱気あ

る雰囲気盛り上げてくれました。始発列車に乗るため前日から駅構内に並ばれた鉄道ファンがあり、千曲川橋梁周辺や別所線沿線で旗振りイベントを構えた地域住民、式典列車に乗った沿線の小学生や大学生たち、思いおもいの期待をこれに寄せていました。

くわえて、別所線は終日運賃無料で運行したこともあり、当日は7千人を超える皆様に御利用いただきました。

式典の**第一部 全線開通セレモニー**では、赤羽大臣や阿部県知事に参加いただきテープカットを、また、**第二部 事業報告会**では、

上田ケープルビジョンの復興の軌跡や長野大学生のカウントダウン企画の映像上映、国会議員、県知事および東急電鉄(株)高橋社長を筆頭に、多くの御来賓からお祝いの言葉を頂戴いたしました。

大勢の人々の笑顔や感慨深げな表情を見るにつけ、また、何より、始発列車出発を涙ながらに見送った上田電鉄社員の皆さんの姿が、とても印象的で、今なお私の脳裏に焼き付いています。

別所線を支える人々の様々な表情を見ることができ、532日間の苦勞も報われたなあ、そんな思いを感じた一日でありました。
なお、このビッグイベントを完

壁にこなし、更には全国の各種メディアのニュースに取り上げていただけたのも、東急(広報グループ)のノウハウと全面的なバックアップの賜物でした。

二 日本遺産認定一周年・別所線開業100周年記念事業

今年6月17日、別所線の前身「旧川西線」が開業してから100周年という大きな節目を迎えました。また、上田市では日本遺産認定を大きなチャンスとして、文化庁補助金を活用して電車とバスのラッピング事業を行うなど、塩田平を中心とする観光振興および地域活性化の取組を進めています。

こうした中、6月19日には、人気急上昇のYouTuber・ピアニストのハラミちゃんをゲストにお迎えして、ラッピング車両出発式と別所温泉駅に設置したストリートピアノ「Love Piano」の演奏会を開催しました。

ラッピング電車のデザインは、塩田平の歴史・文化の一つである「雨乞いの儀式」にちなんだ「塩田平に進む龍」が表現され、その龍にしたたる雨模様も描かれています。

また、このラッピング電車では、愛称の一般公募を行い、Rain(雨)とDream(夢)を掛け合わせた「れいんどリーむ号」として運行し

ています。

三 シェアサイクルで日本遺産巡りと鉄道史跡巡りを

さて、上田市では、「上田市スマートシティ化推進計画」に基づき、ICT(情報通信技術)を活用した様々な取組を推進しており、公共交通分野においては、スマートフォンやQRコードを利用したキャッシュレス決済の実証実験を、菅平高原線など市内バス路線や別所線で実施中です。

また、電動自転車を上田駅前などに配置し、複数の駐輪場を自由に利用できる「シェアサイクル」の実証実験も進めており、来年度は、別所線沿線の日本遺産巡りに活用するべく検討を進めています。

このシェアサイクル活用の推進協議会長を務める上田電鉄の國枝聡常務とは、別所線開業から100周年という長い歴史を振り返りつつ、真田地域や丸子地域の鉄道史跡を電動自転車で巡り、地域資源の再発見・観光ツアーの可能性を探っています。

9月には、上田市街地から真田北東線の廃線跡をたどりながら、北本原駅跡の駅前食堂で「ぼっばや定食」を堪能し、また、四日市地区では、傍陽線の神川橋梁跡と見られる構築物も発見してまいりました。

ぜひ、東京真田町の会の皆さんとも、廃線跡巡りを通じて、古き良き時代の思い出を語らう場を企画できたらと思っています。

四 むすびに

落橋したあの10月13日から、早くも丸2年が経過します。市内では、まだ台風19号災害の復旧途上にある地区や、昨夏・今夏の豪雨災害の影響も受けています。今しばらくは、「台風・豪雨」と聞いたただけで、あの時の記憶がよみがえりそうです。

未来への架け橋たる赤い鉄橋の復旧事業に携わることができたことに誇りを持ちつつ、様々な関係者との人脈を築くことができたことに感謝したいと思います。杉浦竜太さん、鈴木歌波さん、國分卓さん、東浩介さん、北村健太郎さん、國枝聡さん、高山慶子さん、そして二人三脚で戦友とも呼ぶべき絆を築いてくれた宇川慎一郎さん、たいせつな東急グループの皆さん、本当にありがとうございました。

未だに打上げを開催できずにいることが心残りです。仕方ありませんが、笑。

結びに、台風災害を乗り越えつつも、新型コロナウイルスの影響により苦境に立たされている別所線ですが、これからも地域にお住いの皆さん、別所線を愛する皆さんのお力添え

をいただきながら、次なる100年に向けて、一步一步進んでいきたいと思っています。

東京真田町の会の会員の皆様方におかれましても、引き続き別所線への温かい御支援のほどをよろしくお願い申し上げます。(第2部完)

動画サイトYouTube 上では上田市行政チャンネルにて二編の動画「別所線全線開通セレモニー」および「日本遺産ラッピング車両出発式」を公開中ですので、ぜひ御視聴ください。

〔原稿〕依頼 2021年1月11日、入稿10月10日

ふるさとに元気を

大日向そば活性化組合

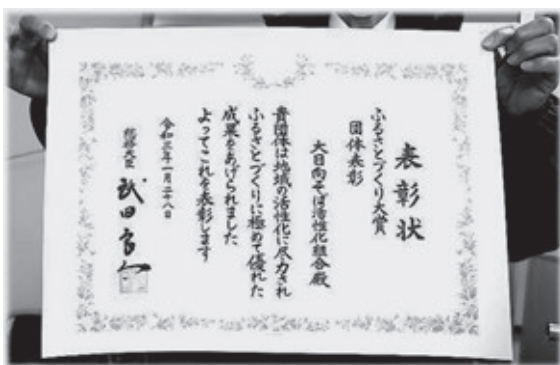
一之瀬 勤(大日向)



コロナ禍で帰郷もままならない東京真田町の会の皆様に、真田の地をもっと元気にしたいと活動し

ているグループを紹介します。

真田町大日向の有志で活動する「大日向そば活性化組合」は昨年度総務省が主催する「日本ふるさとづくり大賞」の団体賞を受賞しました。この賞は全国の故郷の活性化に向けた活動をする団体を表彰するもので、昨年は全国で13の団体が表彰を受けました。その一つに大日向そば活性化組合が選ばれたのです。例年ですと東京で総務大臣から直接表彰状を渡されると思いますが、コロナ禍で叶わなかったのは少し心残りでした。でも新聞記事などを見た多くの皆さんから沢山の祝福を頂きました。



関連する写真を2ページに掲載しています。

大日向そばの会として小さく発足してから今年で15年目になり

ました。遊休農地にそばの作付けを行い、12月にはその粉を用いて自分達でそばを打ち、地元のレクリエーション施設を会場にそばまつりを開催して地元の皆様の他にも近隣や県外から毎年訪れてくれる人もありとてもにぎわいます。また11月に夢工房で行われる「真田の郷そばまつり」には販売ブースを出店してそば粉やそばクッキー、パウンドケーキなどのそばを生かした菓子類やそばすいとんなどを販売して皆さんに好評を頂いています。

そもそもこの会は公民館行事の慰労会の席でのちよつとした会話がきっかけで始まりました。その頃の大日向は長年続いていた運動会が少子高齢化などの要因で開催されなくなり、年に一度地区内の皆が顔を合わせる機会も無くなっていました。またかつては盛んにキャベツなどが作付けされた畑や田んぼも生産者の高齢化や後継者不足などで遊休荒廃化が進んでいました。徐々に活力が無くなっていく故郷を少しでも元気にしたいねと話す中で、人が集まれる場作りと遊休農地の再活用で何か出来ないかと考え、そばを蒔きその粉を使ってそばまつりをやるうじやないかと言うことになり、4名で始まりました。

早速その年に遊休田1枚200坪

に種を蒔き、手刈り乾燥して、テニ
スラケットで叩いて脱穀し、唐箕
をかけ、24 kgの玄そばが収穫出来
ました。その粉を使い100人前限定
で第一回のそばまつりを開催し、
地元の皆様にお集まりいただきま
した。それから15年、荒廃田を少
しづつ復活したり、稲作を止めた
地主様の好意でお貸し頂いたり
耕作地も増え続け、現在は遊休田
13枚を作付けし面積は3600坪あ
まりとなり、500 kgを超える収量を
上げるようになりました。年間の
作業は、春先から数度のトラクタ
ーを用いた除草耕起、そして肥料
撒き、7月下旬には種蒔きして数
度の草刈作業を経て10月中旬に
はJAのコンバインでの収穫とな
り、その後秋起こしと都度会員を
招集して行っています。15年の間
にそばの会もそば活性化組合に成
長し、会員も男性ばかりだったと
ころに女性が増え、そして若者
も加わりと増え、現在では20歳代
から70歳代までの26名になって
います。他にもイベントの際にお
手伝いを頂けるサポーターの皆さ
んも多くいて輪が広がっています。
また講師を招いて蕎麦打ち講習会
も行い、今では会員の多くが蕎麦
を打てるようになり、地元で昔か
ら伝わる「粉もの文化」と蕎麦打ち
技能の伝承も図っています。

「無理なく楽しく」をモットー

に会員の親睦を図りながら、大日
向の一層の活力化と地域貢献を考
えて歩んでいます。嘆いていても
始まらない、まずは創ってみよう
と言う志で年々成長しているこの
グループにご注目ください。

8月末にはそばの花が満開と
なり、一面真っ白なそば畑の光景
が広がっています。また、地元大日
向で行うそばまつりは毎年12月
上旬の日曜日に行っていますので、
ぜひ一度おいでください。お待ち
しています。

【原稿】依頼 2021年7月13日、入稿9
月11日

活力があり魅力

あふれる故郷に

真田の郷まちづくり推進会議

会長 坂口純一



東京真田町の会の皆様におかれ
ましては、ますますのご健勝、ご活
躍のこととお慶び申し上げます。
日本全体で人口減少と少子高齢

化が進展し、様々な影響が予想さ
れる中、地域住民が連携しまちづ
くりを行う住民自治組織として
「真田の郷まちづくり推進会議」
を2019年に設立し、4年目を迎え
ております。昨年度までには、地域
に住む様々な方々と対話を重ね、
意見を交えながら地域における課
題を明確にし、当会の地域づくり
における中長期計画である「真田
の郷まちづくり計画」を策定させ
ていただきました。

社会における様々な違いを認め
合い、お互いが支え合い、だれもが
安心して暮らせる地域コミュニテ
ィの醸成された地域を将来像に描
き、『みんなでつくる』心豊かな
未来の真田』をスローガンに五つ
の分野、「福祉」「教育・子ども・文
化」「防災・防犯、自治・コミュニ
ティ」「総務・広報」にて活動をし
ております。

現在は新型コロナウイルス感染
症の感染拡大予防の観点から様々
な事業計画等が見直しを余儀なく
され、各地区での行事等も中止が
重なり地域コミュニティの低下な
どが危惧されている状況下ではあ
りますが、地域内で地域のために
活動が続けている多くの団体、個
人の方々が当会と活動を共にして
くれています。

今後とも様々な分野で活躍されて
いる団体・個人を地域内で繋ぎ合

わせる横軸となれるよう一歩ずつ
ではあります活動を進めていき
たいと考えております。

これからも真田地域に住むもの
として、皆様の故郷に対する想い
を大切にしながらさらに活力があ
り魅力あふれる故郷にできるよう
努力してまいります。皆様からも
故郷に対する考え、意見などあり
ましたらお声掛けください。

新型コロナウイルス感染症がい
つの日か終息を迎え、何の制限も
なく日常を迎えることができるよ
うになった際には、是非とも皆様
と交流を持ち、真田地域に対して
の意見交換などもさせていただき、
今後の地域づくりに活かさせてい
ただければと考えております。

結びに、「日本ダボス」発行に当
たり寄稿させていただく機会をい
ただいたことに感謝申し上げます。
ともに、東京真田町の会の益々の
ご発展と会員の皆様のご健勝を心
よりお祈り申し上げます。

【原稿】依頼 2021年9月10日、入稿
10月28日

武捨衛人先輩を偲んで

堀内 福 (下横道)

会報「日本ダボス」元編集長武捨
衛人先輩の訃報を知ったのは、コ
ロナ禍のこの一年半感染拡大が続

いて、自粛々のなか、衛人先輩はど
うしているか気になり、電話をし
ました(一月四日)。奥さんは「主
人は昨年(令和二年)九月六日八十
五才、亡くなりました」。愕然!!死
因は老衰とのことでした。二日後



にお線香をあげに自宅に伺いまし
た。「昨年は入退院の繰り返しで、

結局は老衰かなあ」と奥様は大変
お疲れの様子でした。みなさんご
存知の通り、衛人先輩は東京真田
町の会理事(広報担当)として、十
三年間活躍されました。特に編集
長として「日本ダボス」「しらかば
通信」の発行に関しては、精力的に
現地ふるさとの名所旧跡、自然の
四季の景色等の写真撮影をされま
した。編集作業では原稿チェック、
句読点に注意するとか、大変真面
目で探求に長けており、尽力され、
会の発展に貢献されました。

ところで、衛人先輩と私の関係
は、東京真田町の会理事を、数十年
一緒にやったこと、傍陽小学校同
窓生であることです。地区が違う
ため(先輩は中組、私は下横道)遊

び仲間ではなかったけど、中学時
代は野球部に所属、生徒会活動で
もご指導受けました。高校時代は
勉強と部活動(互いに体育会系)に
専念、会う機会もなく、二人は自然
豊かな環境に恵まれたふるさと傍
陽村を離れ上京、職域で活躍。

定年後二人は東京真田町の会理
事につくことになりました。定年
後の衛人先輩は多趣味で、パソコ
ンインストラクター、地域サーク
ル教室を開催、地域でのボランテ
ィア活動、登校、下校時での交通見
守り、私もパソコンでご指導いた
だき、今大変役立っています。感
謝々。

「美女と野獣の会」傍陽中同窓
の有志仲間の会を立ち上げ、都内
の名所旧跡、名庭園巡り、カラオケ
会を開催、世話好きで面倒見が良
く、信頼される先輩でした。趣味の
ゴルフも東京真田町の会のゴルフ
大会にはいつも参加していました。
交通手段はいつも私が運転手、
思い出のゴルフ会は、上田市に合
併前の真田町の議員さん、役場の
役員迎えてのゴルフ、真田町民ゴ
フ大会(菅平高原G)への参加でし
た。

衛人先輩は地域のゴルフ会友好
会コンペに参加して、ホールイン
ワンを達成。「わが生涯最良の日」
アップレ!(両手に華の幸せな写
真が)。



☆ 世を忍ぶ他の四面相(表に四面相)
◇ 所沢市IT講習会 市民講師
◇ ゴルフ同好会《好友会》メンバー
◇ パソコンボランティア講師G(L-IT)メンバー
◇ 【元美女と野獣の会】
(在京信州傍陽出身 仲良し会) 幹事

☆ 趣味
パソコン・カラオケ・ゴルフ・宇宙論
生物進化論・ウォーキング・昼寝
ジグソーパズル・読書・数独・長生き

平福田育英ゼミナール東村山教室 講師
東京真田町の会 理事(日本ダボス編集長)
所沢市立格峰小学校 学校評議員
ばそクラブ格峰NTJ インストラクター

武捨衛人
[morito musya]

〒 359-1145
所沢市山口5040, 39-5-405
TEL 04(2949)4776
mail m-musya@nifty.com

そのほかの趣味は宇宙論、生物
進化論、ジグソーパズル、読書、ウ
ォーキング等々。

また、健康に関する心得、昼寝、
長生き、ボケ防止↓健康長寿を目
指していたようです!!

残念。本人の目標は米寿まで古
の変わりようを見たかったでしょ
う!!

「亡くなった人への一番の供養
は、亡くなった人のことをいつま
でも心に思い自分自身がしっかり
生きていくことであるそうです」

定年後は趣味に生き、地域に尽
くした武捨衛人先輩。

謹んでご冥福を

お祈りいたします。

【原稿】依頼 2021年2月22日、入稿9
月7日

武捨衛人さんを偲ぶ

理事 一之瀬和夫(大日向)

武捨衛人さんは2020年9月6
日永眠されました。享年85歳でし
た。

ふるさとを同じくする仲間とと
もに歩まれ、本会の発展に尽力さ
れた武捨衛人さんに哀悼の誠を捧
げるとともに、故人のご冥福を祈
ります。

武捨さんは2003(平成15)年か
ら2016年(平成28)までの13年

間にわたって理事(広報)をされました。なかでも会誌ダボスや会報しらかば通信の編集長として精力的にとりくまれ本会の活性化に尽くされました。



夏の烏帽子岳 (2016年8月14日)

さて、一之瀬が武捨さんと近しくなったのはごく最近のことです。私が入会したのは2014年ですが、それから1年後の理事会で武捨さんとの面識ができました。

ほどなく、深町副会長から会報の編集に関わってください、との依頼をうけてから武捨さんのご指導をいただく機会も増えました。理事会で会誌の話が上がるたびに、編集作業が武捨さんのパソコンで処理されるようになったこと、それによって印刷所との打合せも順調に進み予算に余裕ができた、と聞いていました。

ダボスの編集にあたっては、総会報告、決算、および会員近況など

に多面的視点が求められるので、編集長は要所々に目を通しておいででした。10月末に原稿が集まってから、11月上旬になると編集長から送られてくる原稿群を理事の皆さんと共に隔々まで目を通すのが新米一之瀬の役回りでした。

編集の中盤(毎年11月の中旬)の進みはまだ平穏でした。

ところが、下旬ごろから連日のメールが・、それも夜中のうちに武捨編集長より送られたもので、添付文書やPDFがズッシリと溜まっていたのです。忽ち未読の山ができました。自分のソフトが潰れたりPCがスタックしても絶対大丈夫、と考えられていたのです。

察するに、小柄細身の武捨さんにとって12月上旬の日々は大変だったでしょう。というのも、武捨さんのPCはひんぱんに“いぼつていた”からです。

三日先に納期が迫っているのに、PCがリカバリするまで「・・きょうのナンプレ攻略はドウノコウノ」と、復帰した後を送ってくる様子などから(まわりが気を揉んでいるのに・・)、忙中閑を愉しむ「ゆめおいびと」のようでした。

印刷所へ最終稿を送られたあとの武捨さんは「時間との格闘コレデオワリ!」と腹をくくったようで、まる二日間メールがないので何か起きたか・?、心配になりました。

した。ところが、印刷所からの第一校(色校)がはいりや戦場と化し、「・・たいへん、こんなところに隠れモノが潜んでいた・」と、そんな粗相を私たちに見つけられ、それも数箇所にあることがわかったのです。その処理のために印刷所とのやりとりで徹夜続きの武捨さんでした。3500部ほどの印刷が完了したのは12月18日でした。

毎年、このような山場を楽しんでおいでだったのでしょうか。いくさが去ってしばらくたった頃、武捨さんから「解決したいことの一つに文字位置の不揃いがあります。してね、スッキリさせたいのです。が、名案ないでしょうか・」と、ユツタリ気分私に訊ねられたことがありました。

これには私も、そのうちに手をいれようか・、と思っていた箇所でしたので「カテごとにテキボをおくか、スマートなものにはルラが・」と提案したことがあります。

これには喜んでもらえて本当に良かったです。武捨さんから「はやく荷をおろしたいので・」とのご希望があり、USBをお借りして29号から一之瀬がこの業を承けることになりました。そのあと、指導を仰ぐことも少なくなり、愉しみを奪ったようでも申しわけない気分になりました。

総会のおり、入口に置かれたバックナンバーのふるさと写真などを手にして、編集の出来栄に納得するかのようにな・、感慨深げにご覧になっていた姿が遠くから見えていてーいまま私の脳裏にあります。

理事会が終ったあとの茶和会では、口ぐせのように「我人生模様・」に及ぶので「そろそろ!」またはじまったかね・と、にぎやかに囁かれていました。食飲される量が少なく「切りとったところへ逆さ腸を継いでいるのでその返しでとつても疲れてね・」と、耐えて小柄な身を起こしておいででした。

その後、T大病院へ行きます、といわれて理事会からも遠くなられました。

―武捨さんのむら―

武捨さんが育ったのは傍陽村の組で、堤の上の方でした。堤は一之瀬が毎夏に行く義母の暮しているところ、また小学生のころ傍陽駅から雪のなかを里帰りの母について行った家の、さらに5軒うえが武捨さんの生家でした。

―会っていたかな55年も前ですけど―

今から数年前、なんとなく繰っていたダボス23号に武捨さんによる追悼文にあたりました。その二段ほど進んだところに、

なんと！一之瀬になつかしい。誠心塾のくだりがありました。そこには、東京学芸大在学中の武捨さんが一年間お世話になっていたこと、中組出身であった塾長飯島圭一先生ご家族との交流が描かれていました。その二年ほど後になつて七年間を私の姉も世話になつた塾です。武捨さんは私より10歳？年長なので、27,8歳のころに古巣のそこを訪ねられていたら

(1964年12月～1966年3月)、最後の居候団であった一之瀬ら4人が会っていたかもしれません。もう50年も前のことですから会ったかどうかわかりません。

武捨衛人さんやすらかに眠りください。

【原稿】依頼 2021年8月11日、入稿10月10日

傍陽で巡り合ったへび・

伊勢で巡り合ったへび

杉村房枝 (落合・萩)

その一

山寺の参道は、夜は真っ暗でした。カバンの中は懐中電灯を常に持っていました。暗い夜道を照らしながら1本道を登って行きました。大きな蛇が通りかかっています。蛇に明かり灯していますと

道を這ってゆつくり草むらの中に消えて行きました。

その二

蓮池がありました。蛇のヤマカガシと黒いカラス蛇の2匹が並びながら泳いでいました。きれいな蛇の姿を見ました。

その三

中学時代クラスの男生徒が一升瓶に白っぽい蛇を入れて教室にもつてきました。教室で這わせたり、廊下を一直線に這わせたりしていました。女子生徒は驚いて声を出して震えていました。

その四

峰山があり、そこからの帰り道に棒に蛇をグルグル巻きつけてもつて来たのを見ました。

その五

寺の庭には梅の木が沢山植えてありました。青い実をこれまた沢山つけていました。庭には、蛇がどつさり木にぶら下がっていました。そして私は、その蛇を見ないようにして下を向いて歩きました。

その六

水道があり山にタンクがコンクリートでありました。湧き水できれいな水が大量に貯水されていました。父と見回りにたまにいきました。タンクを覗くとききれいな水の中に蛇が2匹気持ちよきそうに泳いでいました。水がきれいなので木の蓋をしてそのまま安心して

帰ってきたものです。

その七

伊勢神宮へ行った時の事です。

天の岩戸へ行きました。湧水のあるところです。大きな洞窟がありました。その所から大きな蛇・青大将がゆつたりと現れ、清らかな川の堤の上に長々と堂々としていました。その堤には、石の立派な祠(ほこら)が三基ありました。蛇はその祠にゆつくり近づきました。蛇はその祠に頭をつけ、首を巻き付けるように丸くなできるようにしてしばらくとどまっていました。

それから真ん中の祠に近づいて頭をつけながら、丸く首をからませるようにして、またしばらくとどまっていました。それから三基目にもゆつくりいきました。祠に近づき同じように頭から首に巻きつくようにしばらくとどまり、私共を見守っていました。見物人や子供もいましたが、蛇を子供は触れたりしていました。蛇はびくともしないで堂々としていました。その後、蛇は祠のあるところから離れていきました。大蛇が丁寧な事を祠にして儀式の様に見えました。

山に向かい、草の茂った野原を勢い良く、5、6メートルもありそのうな大蛇は登り始めました。その姿は、一回目は右の方に大きな三角形に草を踏み潰してでき、描か

れた様な形でした。すかさず、左の方に大きなうねりを交わし、扇のような形に草を踏み潰して進んで行きました。更に二回目も、蛇は地面に三角の大きな形に、もう一度、迫力のある勢いで大胆な三角の形を残して、山を登って行きました。その光景は、蛇の舞と申しました。うか大変美しいもので御座いました。神秘的な姿を見て、終始感動していました。

山全体に大きく見られた大蛇は、山の中に消えて行きました。

【原稿】依頼 2021年9月23日、入稿同右

ふるさと真田町からの

いたなきもの

安森尚美

(堀内・佐藤・下横道出身)



今年は進学を機に上京して19年目で、遂に真田で過ごした時間よりも上京してから時間が長く

なるんだなあと考えながら過ごしていた年でした。現在は東京多摩地域で夫と4人の子供と暮らしています。

この度寄稿させていただくにあたって、日本ダボスのバックナンバーを拝読しました。東京真田町の会の先輩方の足跡を窺い、先達の皆様のご活躍が私たち世代の東京にも後押しをしていたのだと、改めて感謝の念を抱いています。また、創刊号の清水清晴さんの寄稿に「生家より送つてもらう信州味噌の味から始まり、春はわらび、ぜんまい、たら芋と秋はリンゴや野菜、時には高価な松茸の香に接するというつながりがあります」とありました。30年余の歳月の隔たりがあるにも関わらず、現在のわが家も全く同じ状況です。ふるさととの繋がりはいつの時代も変わらぬものだなあと感慨深く思いました。

つい先日、6歳の長男が菓子箱二つを繋げてパカッと開いて動くようにしたものに目と鼻を描いて顔を作り、4歳の長女、2歳の次女と一列に並んで布団をかぶって大はしゃぎしていました。先頭の長女が持った菓子箱の顔は口がパカパカと開いたり閉じたり、3人が入った布団の胴体は縦に横にと動いて躍動しています。獅子舞ごっこでした。2年前に里帰りした

際、長男長女は上洗馬神社の秋祭りでも獅子舞をじつと見ており、頭を嚙んでもらう体験をしていました。きつとその時の記憶を元に、この獅子舞ごっこ遊びを思いいつたのでしよう。郷土の出来事が子供達の心にも残っていくことが感じられ、うれしくなりました。

帰省の都度、出歩けば近所の方にも声をかけていただき、毎度楽しい、快い体験をさせていただいています。私たちが帰省した際に簡単はこのような体験をいただけるのは、地域の皆様が人間関係を含めた有形無形の郷土資産を守ってくださっているおかげで、本当にありがたいことだと改めて思う今日この頃です。

私は現在、大学で園芸作物の栽培技術の研究開発に従事しています。幼い頃から身近に農地・農業があったこと、様々な人の縁によって今の仕事に導かれてきました。仕事で地方の農家さんを訪問した際は、真田での生活のことをお話しすると親しみを感じていただけて活動がスムーズになりました。農業への参入を検討している民間企業の方との打ち合わせでも、自分の来歴を話すことでぐっと信用を得られました。ふるさと真田と離れて生活しておりますが、私にとって、農業の活性化を目指す仕事をしていることはふるさととの

大事な繋がりであり、また、ふるさととの存在が仕事をする上での自信や基盤になっています。

コロナ禍前のある日の保育園からの帰り道、先に走って進んだ長男長女が通り道にある社会人ラグビーチームの練習場横で大声をあげていました。フェンス際に来てくれた選手と子供達との「おれ長野に行っただんだー」「おにいさんも行っただことあるよー」といった会話が聞こえてきました。菅平のおかげでラグビー選手との会話が弾みました。真田地域の観光資源がこちらでも様々な縁を結んでくれています。来年少学校へ入学する長男の最近の口癖は「小学生になったら夏休みはおばあちゃんちに行くんだー。いっぱいお泊まりできるんだー。楽しみだー。」と期待に満ちています。また、真田での思い出をこちらの友達にも披露したそうで、一緒に長野に行つて雪遊びする約束もしているようです。このまま新型コロナウイルスが収束し、再び気軽に帰省できる世の中になりますように、観光客も戻って多くの人が真田の四季を楽しめますことを祈念しています。

【原稿】依頼 2021年10月5日、入稿11月12日

安森さんの研究分野は、「堀内尚美」で検索して知ることができます。

《広告欄》

山口法律事務所

弁護士 山口 元彦

〒184-0012 東京都小金井市中町2-19-6
TEL 042-407-2551 FAX 042-407-2551

誠実に、確実に、そして親切に

取扱い事件

不動産に関する問題 相続問題
金銭問題 交通事故
刑事事件・少年事件 その他

真田の思い出

堀内 勇 (愛知県在住)

私は昭和39年に故郷真田を離れ、名古屋近郊の企業に就職した。そのままこの地に住み続け、今年76才になった。

定年は既に16年前になるが「会社という大きなしほり」から解放されたこの頃から、故郷の小・中学の同級会などの開催が盛んになった。



山家神社奥社前で2016年6月4日

親の県外転居もあり、定年迄ほとんど帰郷しなかった私は、新鮮な気持ちで、機会ある度に小学生の頃に遊んだ場所を訪ね歩いた。一年生は大日向小学校に通った・・・が、川べりの校庭に立っても、宮前の坂道を歩いても総て曖昧模糊としている。

唯一筋の通りそうな記憶は商店(注1)での買い物である。《二つで一円のアメ玉》は《50銭で一つ買える》と信じる私は、店の人に

「この50銭硬貨はもう使えないのヨ」と諭されて《アメ玉を二つもらった》ことがある。うれしさよりも悔しさや恥ずかしさが先に立った、一番古いホロ苦い思い出である。二年生からは真田に移り長小学校に通った。

山家神社周辺の子が遊ぶ代表的な山と川、そして長村の中心地、真田駅前のことを思い起こして見る。ゴンゲの淵 神川から取水する堰のある所をゴンゲと呼び、夏はみんな川に入り浸った。水浴びは少々にし、カジカ獲りに夢中になった。水面器(箱メガネ)で覗きヤスで突くのであるが、石をめくる度にカジカはスット深みに進んでしまい、なかなか突けなかった。堰に貼りつき、「涼んでいいる」カジカは片手をお椀型にし、上から押さえ込んだ。この手の形をし、行くか!!というのが仲間の合言葉だった。

剣岩 真田駅の谷向いにある岩山は、頂上が剣の形をしており、その上に立つには相当な勇気がいった。麓の山の神を横目に、数人で競って登る。下りる時は杉林の中を尻に敷いた枝で藪を滑り下りた。登りも下りも又スリルがあり人気だった。近年に、大きく崩れた所は周りの松の木が大きくなり、遠目には目立たない。

真田駅前 昭和30(1955)年頃、駅

前には農協のほか、松尾旅館など、食堂や商店が複数あり、村一番の盛り場だった。陸運会社の十輪トラックを見に行ったり、大人に紛れパチンコ店に潜り込み、拾った玉を打った事もあった。廃線から数十年を経た今、その駅舎は勿論のこと、周辺には廃屋も散見し、時代の流れをまともに受ける。



a) バス転回場より見た真田駅の改札出口と貨物の炭俵など(1958年8月上田丸子電鉄より)



b) 白山荘への渡道から見た真田駅舎(地方私鉄1960年代の回想: 上田丸子電鉄真田傍陽線より)

更に「剣岩の大きな岩が崩れた」千古の滝がいやに低くなった。自然の変化と相俟ち、今まで思考

《広告欄》

東京真田町の会

顧問 塩沢和政

(大日向出身)

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田 1074-37

☎ 047-450-3348



の外にあつた「世紀」という単位が身近にあることを自覚した。

数年前、長小の同級生山本君の段取りで四阿山(標高2354m)に登った。故郷を代表する山であり、少年の頃から、いつかは・・・と課してきた。その頂きに遂に立てた。真田で生まれ育った証を手中に納めた思いがした。

現在、私は市街地に住み散歩を日課としている。スイコンを噛み、桑ミヅをほうばる。やる事は子供の頃と一緒である。この道草の合間にも、真田から望む「四阿山の夕映え」が浮かんでくる。その大きな山容は、「黒く沈みゆく大日向の山あい」の上に、充分な光を残して腰掛けている。

(注1)このお店屋さんは中大日向の公民館前バス停留所脇にかまえていた正村商店だったことが一之瀬とのやりとりでわかりました。

【謝辞編集部】大日向小で一年間を共に過ごした堀内勇さんに会ったのは転校してから67年後の2015年5月24日、鹿教湯鹿鳴荘での真田中期会合(幹事山本幸さん)のときでした。声をかけてくれた人物は「長村大日向小に一年いたあと長小に移った堀内ですよ、覚えてますか?」と。転校した仲間が二人いたことは憶えているが、そのうちの一人だった・・・と、当時を思いおこす突然の機会となり

ました。ほかの一名は女の子の塩沢さんで三年?の夏休みが明けたらいなかった。

一年の三学期も終わる三月末、みんなの前に立った堀内君の脇で担任の関口澄子先生が「勇ちゃんは長小へ移るの・・・」と紹介がありました。教室の前列にいた一之瀬はこのときに見た顔を今でもよく覚えています。学校を移るってどういうこと?不思議・・・と、その意味が全然わからなかったからです。

【原稿】依頼 2021年1月11日、入稿6月18日

会員皆様の近況(注)

(敬称略・旧姓・出身区)

1 石巻哲夫(曲尾)

役員の皆様いつもご苦労さまです。ダボスの来るのを楽しみにしております。

2 一之瀬和夫(大日向)

COVID-19とその変異株対応のVaccine made in Japanに実力をかけるときです。このさい蓄積された基礎体力をもとに息の長い新薬開発の努力が必要で税金はこういうところへつぎこむものだろうと思います。まったく恩恵をうけていない国々の人口が断然多く、世界に向けて私たちの力を発揮する

チャンス到来です。

感染症国立病棟を各都道府県におき、安心して療養できる体制にするために看護学院の創設なども急務。常設の接種会場では外国人も遠慮せずに受けられるようにしたい。接種すみの団体ツアーを組んで宿泊の超割引もつくる。海外からの旅行者にはVaccine 治安の☆五を提供できるように、これぞおもてなしのトップイメージにふさわしいと思います。

3 岩崎みち子(正木・菅平)

残暑お見舞申し上げます。昨年から続くコロナで毎日の生活がすっかり変わりました。孫たちも長い休みですが、行事がほぼ中止で家の中は賑やかと言うよりうるさい毎日をすごしています。一日も早い終息を願うばかりです。

役員の皆さん本当に大変ですがもう少しの時間がかかるでしょう。みんな同じ気持ちだと思えます。感染しないようがんばってゆきたいと思っています。

4 岩崎 弘(本原)

コロナ禍が早く収束することを祈っています。

5 上ノ山勝信(堀内・三島平)

秋にはコロナも終息するとの科学者の意見もあります。総会も実施出来ると良いですね。

6 大久保あき子(川上・菅平)

暑い夏、又コロナ禍で大変な中

《広告欄》

空き家・留守宅・空き家の管理 お任せください

大切なお家を
建物のプロが
しっかり守ります。

お電話ください

(株)空き家のおまわりさん

〒386-0151 長野県上田市芳田 468-6

(株幸和建設内)

代表取締役 宮下 幸良

TEL 0268-36-3114

FAX 0268-36-3838

mail : info@kowa-kensetsu.jp

皆様お元気でしょうか？私事です
が7月に引越しました。

7 萩原啓治(四日市)

毎日楽しい音楽が友達です。暗
いマスコミの報道有りますが、自
力で頑張ります。

8 加賀見昌子(山本・横浜)

お世話になりました有り難うご
ざいます。

9 川上年美(宮崎・菅平)

私事で申し訳ございませんが、
また引越をしました。新住所を記
入しました。早くコロナが静まれ
ばよいですが皆様と会える日は遠
いですね。

10 川上秀盛(菅平)

先日新聞に菅平高原の駅伝合宿
の様子が載っていた。グラウンドで
走る大学生達、高原特有の緑の山
澄み切った青い空真つ白な雲少年
の日の菅平の夏が胸一杯広がり涼
しい風が全身に吹き現れた。現実
を見ればコロナに依る経済、教育、
異常気象に依る災害猛暑この困難
な暗い世状を乗り越えねば「大悪お
れば大善来たる」冬は必ず春と
なる「この全言を信じ祈るのみ」

11 神田幸雄(横尾)

会報しらかば通信の発行などに
役員の皆様の御苦労に感謝申し上
げます。コロナ禍の近況では計画
していたことが中止に、活動して
いたことが休止で残念です。唯一
の楽しみは二年前に始めたバード

ゴルフです。会員約50名ほぼ全員
高齢者です。会場は市のスポーツ
施設の利用許可を得て準備し、練
習や大会を楽しみながら元気に過
ごしています。「東京真田町の会」
一日も早く軌道にのることを心待
ちにしています。

12 久保新一(角間)

ご苦労さまです。コロナ・パンデ
ミックを機に中央集中の時代が終
り地方分散の時代が変わります。

13 小林重利(入軽井沢)

新型コロナ感染下での会務大変
ご苦労様です。一月末に腰椎圧迫
骨折により二箇月入院しました。
ソケイヘルニアも見つかり入院中
に手術をし、現在リハビリ中です。

14 小林孝雄(曲尾)

コロナ禍の中、ご苦労様です。
「東京真田町の会」の今後を見守
つていきます。

15 坂口典和(真田)

コロナ禍の中、我が家も行儀、正
しく家でじっとこもっております。
そんな折の我が家の「花さか婆さ
ん」のお話しを気晴しにしましよ
う。

それは、今は昨年、近くにおる小
学生の孫がな、学校が夏休みに入
ったとて、朝顔の花を家に持ち帰
ったんさ。綺麗に沢山咲いた後、花
は種をたんとつけたんさ。それを
孫は取り集めたんだけどな一粒取
りこぼしてあったんさ。それがな

ベランダ三階の排水溝の中に転げ
落ちておつてな。しばらくして
それが芽を出しおつたんさ。それ
を見た家の婆さんがな、可哀そう
に思うて抱いて家に持ち帰ったん
だそれから毎日毎日優しく育てた
んで朝顔もな「ありがと、お婆さ
ん」と驚く事に二月の寒い時に頑
張って花を咲かせてくれたんさ。
そしてその花からまた種を取って
また蒔いてやるんさ。婆さんと朝
顔との仲は今も続いているんだ。
終り

16 佐藤昌江(柳沢・萩)

しらかば通信ありがとうございます
です。久しぶりに真田町を思いだ
して(昼下がりの川原柳駅を見ま
した。もう駅もなくなくなってしま
いましたね。若き日々の友達をなつ
かしく又お逢いしたいです。早く
コロナがなくなつて欲しいです。
どうぞお体にお気を付けてお過ご
し下さいように・・・

17 椎名巳津男(山口・横浜)

金子会長様はじめ役員の皆様方
の御苦労に対し感謝申し上げます。
二年間にわたるコロナ蔓延での総
会中止ほんとに残念ですが仕方あ
りません。一日も早く原状復帰を
祈る思いです。会員の皆様方健康
に注意されお会い出来ますこと楽
しみにしております。

18 柴田小夜子(市村・菅平)

コロナ禍で長引く自粛生活に本

《広告欄》

株式会社 千曲美装 一般社団法人 優良リフォーム支援協会会員

代表取締役 宮下 毅

〒386-0015 長野県上田市常入 1-7-104
Tel 0268-23-7896 Fax 0268-23-7813
e-mail t_miyashita@chikumabiso.co.jp



アパート、マンションから
一般住宅までリフォーム・
メンテナンスの全てをお引き
受けいたします。
お気軽にお声かけ願います。

当に疲れました。一日も早くゆつくりとできる生活が戻ることを望んでおります。オリンピックもパラリンピックも本当に良かったのか？それぞれの立場で無事に終る事を祈っています。

19 杉崎壽三男(菅平)

役員様にはご苦勞様です。よろしくお願い申し上げます。益々のご発展を心よりお祈り致します。新型コロナウイルスにはくれぐれもご注意ください。なさるよう皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

20 杉村房枝(落合・萩)

しらかば通信臨時号を誠にありがとうございました。拝見させて頂きました。いつも大変にお世話様になって居ります。

さて、コロナ禍に心配と不安が続き、さらに天候不順があつて、これまた心配となりました。くれぐれも御身を大切にされますようお祈り申し上げます。

21 鈴木邦子(横尾)

会員減少の為会費もそれに伴い少なくなったり、又市からの補助金も少なくなったりで運営の大変さが痛く感じております。

若い方の入会もなかなか厳しい事もあり、今後何とか頑張りたいと思います。

コロナの影響もあり遠出もなくなりまして、家でもくもくと体をきたえようと動き廻って居ります。

ます。真田町の総会もままならず、会員方々の高齢化も進んでいる。今、ただコロナの終息をひたすら待ち望んでおります。心からの皆様のご健康を願っております。理事の皆様本当にお疲れ様です。

22 武田守央(真田)

しらかば通信27号有りがとうございます。役員の皆様のおかげで今後の情報が伝わりました。

私も81才になり趣味のゴルフなどで頑張っております。来年度の総会開催を楽しみにしております。東京真田町の会長ご苦勞様です。会の繁栄願っております。

23 塚田加代子(宮崎・横尾)

緊急事態宣言の地域拡大、期間の延長など誰もが息苦しい社会生活を送っています。

「しらかば通信」にWebで理事会を開催、とあり役員の皆様は頭が下がります。

私もコロナ禍でWebで打合せをひんぱんに行うようになりましたが、顔を合わせてのようにはいきません。それでもなんとか「つながり」を持つと努力しています。

多くのご苦勞をかけていると思います。早くコロナが終息して顔を合わせることができるとを祈っております。

24 館野清實(堀内・田中)

今年八月で90才になりました。

長い間のコロナにもかかわらず今も元気でやっています。

早く皆様とお会いしたいです。

25 中島正江(関谷・戸沢)

この大変な時にいろいろ会議等、打合せ等ご苦勞様でした。本当に感謝しております。総会等にはぜひ参加したいと思っております。今は介護施設に勤めておりますのでコロナに気をつかっています。

暑さ厳しき折り、お体を大切にしてください。

はやくコロナの件なくなるようにお互いに気をつけましょう。元気で!!

26 長田ムネ子(矢島・真田)

いつもお世話になっております。福島県のいわきに引越して来て一年が過ぎました。こちらの生活にも慣れてなんとか元気にしております。

コロナが終息して総会等が開催されるようになりますら、ぜひ皆様とお会いできることを楽しみにしております。

27 野間亮子(北沢・横尾)

とりあえずワクチン接種も済みひかえめ目な生活を送っております。世の中がもとの元気な世界になれる日を願う毎日です。

28 野村勝太郎(大日向)

元気で活動して居ます。皆様にご苦勞様ですが今後共宜しく願います。

《広告欄》

ゆっくり湯治してほしい温泉宿。かけ流しの温泉でココロも身体もほかほか。心を込めた手作り料理も宿の自慢です。

信州鹿教湯温泉 水車のまわる宿

TEL 0268-44-2236

〒386-0323 長野県上田市鹿教湯温泉 1422



29 花岡孝雄(横尾)

役員ご苦勞様です。コロナに注意して頑張ってください。

30 半田 喜章(中横道)

しらかば通信ありがとうございます。新型コロナウイルスの収束が見通せず更に変異株(デルタ、ラムダ)が益々拡大し期待したワクチン効果も未だで企業、個人的にも迫込まれている現状すべての会合、会食、旅行等が中止となりストレスが溜まる一方です。最近の政府方針がはっきりしない為、不安、不満が募っています。

この様な時にも色々計画される役員の皆様ご苦勞感謝致しております。

ワクチン接種も終わり何とか元気に暮しています。

31 深町共榮(山岸・田中)

ワクチン接種で10月の総会・懇親会ができなかったのですが、オリンピックあたりから感染者が急増し、開催が中止になったのは残念です。ワクチン接種後でもコロナ感染は簡単には収まりそうにもありませんが、来年の総会懇親会に期待しましょう。

32 堀内耕吾(下横道)

会の運営にご尽力頂き感謝申し上げます。入会当初は懇親会に参加させて頂きましたが、その後所用と重なり御無沙汰となりました。近頃は無理も出来ず歳相応で過す

日々です。コロナの終息を心待ちにしております。

33 堀内 幸(下横道)

コロナ禍で会長はじめ役員の皆様のご苦勞推察致しております。二年余り帰省もせず外出もせず控えています。入会当時は40才台でしたが、今は80才代になりました。昔の自分が懐かしくなります。

今年は特に猛暑の夏を感じています。自分の趣味は毎週2回の昼カラオケと10年前から近所の介護施設へ週に1回の水彩画の掲示を楽しんでいます。

34 堀内 福(下横道)

げんきです！しかし高令(加令)に勝てず記憶等が衰え・・

日本ダボス編集部一之瀬さんより依頼されている「武捨衛人氏を偲んで」を9月末まではなんとか提出しますが？頑張ります。

35 堀内寿美(上横道)

いつもご連絡をありがとうございます。コロナ禍で大変ですが、体に気をつけて頑張ります。

36 堀内秀夫(下横道)

今年もさびしい会となりました。ですが皆様の元気をいただきました。昨年よりひとつ病名が増えましたが何とか元気に過ごしています。ひとりでの出かけはボケのためかむずかしくなってきました。

町の健康体操などに参加していますが思ったようには体操をして

ないようです。

37 堀内保芳(三島平)

コロナ禍、早期収束を願っています。皆で負けずに頑張ります。

38 牧内隆志(戸沢)

このコロナ禍の中で役員様方にはお骨折りいただき大変ご苦勞さまで。

私の居る神奈川県は東京都に負けず毎日の感染者数が多く身が凍える思いです。一日も早く通常の生活に戻れることを願うばかりです。これからも頑張ってください。

39 八木五郎(中横道)



(編集部は八木様をお願いして、近況を絵手紙(二葉)で寄せていただきました。)

《広告欄》



代行 ゆきむら

長野県公安委員会認定第273号：代行保険完備

代表 飯島 嘉夫

TEL 090-1504-1196

〒386-2202 上田市真田町本原 2749

営業時間 20:00 ~ 3:00



リンゴの 大松農園

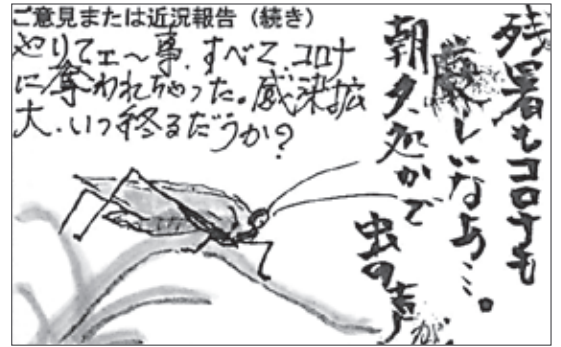
小玉のサンふじ・シナノスイートは、
2月末まで発送いたします。

連絡先

〒386-2203 上田市真田町傍陽 3774-7

堀内 昭一

Tel.090-4017-3721 Fax.0268-75-3355



40 山崎静次(横尾)

役員の御努力によりこの会が無事に運営されている事に感謝もうしあげます。月始め久しぶりに真田へ帰省しました。同級会も同級生にも逢わず、一日ゴロを妻として帰りました。又行きたいです。

41 柳沢郁政(戸沢)

「菅平シーハイル」の動画が佐々木秀実さんと地元の皆さんで昨春秋にインターネットで発表されました。今も時々見て、私も歌い楽しんでおり元気になれます。ありがとうございます(松戸市、83才)。菅平シーハイルで検索すると見ることができません。

42 柳澤喜三郎(萩)

長期間にわたって公私共々お世話になりました。御自愛専一の程を。

43 山口敬一(大日向)

会報誌は都度何部制作されているのですか？(注1)

44 山口元彦(横沢)

役員の皆様ご苦勞様です。コロナの急激な感染増のため、わがやの墓掃除もお盆もパスしなければならず、困ったものです。

45 横山たか子(横沢・大畑)

「しらかば通信」など送付ありがとうございます。1p表紙にある左右二つの写真について、撮影日がわかれましょう(注2)。いつも懐かしく見えています。

|| ||

令和3年議案の書面表決では返信数71通(締切8月20日)、このうち近況欄に記載された45通を掲載しました。「編集部」(注1)ダボス33号では3850部印刷しました。「編集部」(注2)写真二葉の撮影年は廃線の1972年以前です。「編集部」

東京丸子会総会・

懇親会報告

日時 令和三年十一月十四日(日)
場所 アンフエリシオン(江東区亀戸)

出席者

「来賓」(1)上田市長土屋陽一様ほか四名、同市議会議長土屋勝浩様ほか六名、(2)JA代表理事組合長眞

島様ほか二名、(3)友好四団体から四名(計一九名)

「会員」三十一名

総会 十一時

- ・土屋博会長挨拶
- ・議事
- ・会務一括報告(会長)
- ・監査報告(飯塚和夫監事)
- ・オープニングショー
- ・ピアノ演奏 本浄 奈央さん
- ・オカリナ 辻 千佳さん
- ・集合写真撮影

懇親会 十一時半〜十三時四〇分(十二時開会)

- ・「信濃国」ピアノ演奏
- ・土屋博会長挨拶
- ・上田市長挨拶 土屋陽一様
- ・理事者随行センタ長(乾杯)
- 久保田莊司様
- ・上田市議会議長挨拶 土屋勝浩様
- ・代表理事組合長挨拶 眞嶋実様
- 余興
- ・ビンゴ大会
- ・「ふるさと」ピアノ演奏
- ・閉宴の言葉(瀬田副会長)

懇親会終了(十四時頃)

後記 皆様方と楽しい一時を過ごさせていただきました。会長土屋様と「ふるさと会」に関わる意向調査について意見交換をしてまいりました。

会員の皆様、大変お世話になり、ありがとうございます。東京真田町の会 会長 金子 誠

《広告欄》

現代舞踊内海流 舞踊教室

東京真田町の会顧問

中島正江
(内海鉄政望)

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見3-22-18-103
☎ 03-6411-0703

株式会社 アップルサイエンス

代表取締役 川崎 豊



- プロジェクションマッピング
- ビデオ映像(会社案内など)
- ホームページ制作・メンテナンス
- CG制作

是非ご相談ください

〒381-0025 埼玉県行田市埼玉 5340-2
TEL 048-559-5300 <http://www.applescience.com>
Mail kawasaki@applescience.com

令和2年度 会 務 報 告 書

令和2年

5月17日 第33回総会・懇親会、コロナ禍のため中止し、10月25日に延期とする。
 6月25日から 理事によるネット会議にて、10月25日の開催予定の第33回総会・懇親
 7月 1日 会中止を提案。

7月25日 しらかば通信25号(臨時号)を発行。
 新型コロナウイルス感染収束の見通しが得られないため、10月25日開催
 予定の総会・懇親会中止決定。
 総会中止により、令和元年度の会務報告(第1号議案)、決算(一般・特別)
 報告(第2号議案)、令和2年度事業計画(案)(第3号議案)及び予算(案)
 (第4号議案)を書面による表決を通知。

8月20日 表決の集計。84名から返信があり、全員から、第1号議案より第4号議案ま
 でのすべてが承認された。(注)会則「第9条3項 総会及び理事会の決議は、
 出席者の過半数をもって決する」による。

9月から 理事ネット会議により、「日本ダボス」編集方針を協議。

10月中旬 同上

10月25日 第33回総会・懇親会、コロナ禍により中止

10月下旬 ふるさと訪問親睦旅行を中止。

12月21日 「日本ダボス」第33号を発行。

令和3年

2月 ネットによる理事会にて、令和3年5月16日の第34回総会・懇親会を
 中止とする。また、当総会・懇親会を10月3日開催を提案。

3月31日 しらかば通信26号の発行。

令和2年度 決 算 報 告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

収入の部	金額(円)	支出の部	金額(円)
上田市補助金	300,000	上田市補助金返却	98,100
年会費	177,000	年会費 返却	3,000
総会懇親会	0	総会懇親会	0
広告	140,000	会報発行費	413,339
寄付金	29,500	事業費	20,983
利息	0	事業通信費	2,899
		事務用品費	6,819
		会議費	0
		渉外費	0
		交通費	0
		雑費	45,347
当期収入	646,500	当 期 支 出	590,487
前期繰越	165,352	次期繰越金	221,365
合 計	811,852	合 計	811,852

上記の収支決算を報告します。 会計 坂口典和 ㊞

上記の決算報告書は適正かつ真実であることを認めます。

監事 荻原啓治 ㊞

監事 深町共榮 ㊞ (令和3年6月15日)

令和3年度 事業計画

- ① 第34回総会及び懇親会の開催 (令和3年10月3日)
- ② 会報「日本ダボス」第34号の発行
- ③ 広報紙「しらかば通信」第27号の発行
- ④ ホームページの運営
- ⑤ 会員相互の親睦をはかるため、会員旅行、ゴルフ会、特別企画四季めぐり、見学会等の開催 (コロナ禍のため、規模を縮小して実施、または中止)
- ⑥ 上田市との交流促進のため、ふるさと訪問・ふるさと特産物の宅配協力等、および各種文化・スポーツ行事への参加 (コロナ禍のため、規模を縮小して実施、または中止)
- ⑧ その他

令和3年度 収支予算

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

東京真田町の会役員名簿

令和3年12月1日現在

収入の部		支出の部		職 名	氏 名
科 目	金額(円)	科 目	金額(円)	会 長	金 子 誠
年会費	170,000	総会懇親会費	400,000	副 会 長	深町 共榮
総会懇親会	350,000	会報発行費	410,000		柴田小夜子
上田市補助金	300,000	事業費	90,000	理 事	監 事 荻原 啓治
広告	130,000	事業通信費	45,000		事務局長 深町 共榮
寄付金	10,000	印刷費	25,000		会計理事 坂口 典和
利息等雑収入	0	会議費	40,000		編 集 長 一之瀬和夫
前期繰越金	221,365	渉外費	60,000	顧 問	小林 孝雄 山口 元彦 塩沢 和政 中島 正江
		交通費	50,000		
		雑費	30,000		
		予備費	31,365		
合 計	1,181,365	合 計	1,181,365		

JA 信州うえだ 女性部真田支会

〒386-2201

長野県上田市真田町長 3893-1

TEL0268-72-2300

FAX0268-72-4032

一芳志御礼

神田幸雄様(横尾)より本会に一金式万円のご芳志をいただきました。ここに厚く御礼を申し上げます。

令和二年十二月吉日
会長 金子 誠

レイライン…塩田平の信濃国分寺、生島足島神社、および北向観音は一本のRay Line(夏至の日の出の際に太陽が地上に作る光の束)で結ばれ、夏至と冬至には生島足島神社の鳥居の真中を太陽光が通過することを表現しています。同じ「レイ」でもLey Lineのほうは、古代の遺跡などが一直線上にあることを称して、アマチュア研究集団が提唱している聖地のロマンを指しています。



高寺望夢 (たかてらのぞむ、2002 年 10 月 17 日生れ 19 歳)、上田市立本原小学校・真田中学・上田西高卒業。2020 年の NPB ドラフト会議にて阪神タイガースから 7 巡目指名を受けた。背番号 67。

～会 員 消 息～(令和 2 年 11 月～令和 3 年 10 月)

〈住 所 変 更 (敬称略)〉

○大久保あき子 〒132-0034 東京都江戸川区小松川、1-5-6-803

○川上年美 〒164-0012 東京都中野区本町、6-39-1、相原荘 303

○吉川栄子 〒338-0821 さいたま市桜区山久保、2-9-17

〈退 会 (敬称略)〉 長い間にわたり本会の運営にご協力いただきありがとうございました。

内海宏光、久保新一、小林 清吾、小山末江、中澤欣勇(逝)、斉藤民子、鈴木民子、平田金子(逝)、広川雅子、井上かつよ、丸山廣義、佐藤宏次、武捨衛人(逝)、柳沢喜三郎

次回総会の予告

2022 (平成 4) 年度の第三十五回総会・懇親会は 5 月 15 日(日)、私学会館アルカディア市ヶ谷(六階霧島)で開催する予定です。

コロナ禍のもと、過去二回の第三十三回と三十四回を開催できずに今日に至りました。

会場では者間間隔をひろく保って、行動様式にも従来以上の制限はあるでしょうが、来年度はぜひとも開催したいものです。これについては 4 月発行の「しらかば通信」no. 28 で理事会の判断を皆様にお知らせします。

会費払込みのご案内

年会費払込には本会専用の「払込取扱票」で郵便局にて払込下さい。この払込取扱票は右記しらかば通信に同封されます。同票には「通常払込料金を加入者負担」と印刷されており、本会が払込料金を負担していません。

当会の年会費は一千五百円です。したがって、未納の過年度分も同票で払込みされるときには、該当する年度と金額を必ずご記入下さるようお願いいたします。

広告御礼

本誌 no. 34 の発行にあたり広告をお願い致しましたところ、コロナ災下にあっても多くの皆様からご協力を頂きました。ここに厚く御礼申し上げます。

編集後記

本誌の広告に御協力頂いた方々およびご寄稿下さった皆様に厚く御礼を申し上げます。おかげさまで、今年もふるさとからいくつものニュースをいただくことができました。

ご多忙のおり、私どもからご寄稿のお願いに快諾された上田市機関と市議会議員の皆様、および JA の皆様には心より御礼を申し上げます。また、まちづくり推進会議の動向を、大日向そば活性化組合の活動を、さらに、別所線の橋梁竣工および開通式典などを、活躍されている方々の熱さが伝わってくるような雰囲気にして皆様にお届けすることができました。

COVID-19 の襲来から 2 年がたちました。国内では、どうやらのりこえてきた第五波ですが、これまでの社会実験で獲得してきた知見を今後に活かし、Vaccine made in Japan の開発のために、全精力を傾けるに値する格好のチャンス到来です。防疫ではこの研究開発は人類の生存と共に続くのでしょうか。

次々と生れ迫りくる変異株を迎えつつ際限のない日々にならないことを祈るばかりです。新型コロナウイルスは極めて短期間に、それも日本からかなり離れた地域で変異を達成していることが報じられています。

いっぽう、温暖化によって永久凍土が融解し、メタンガスが急激に放出されていることも懸念されます。

何億年にもわたって蓄積されてきた凍土に潜むウイルスがどんなものであるかを研究する必要があります。(一之瀬和夫記)

連絡先 金子 誠 〒364-0035 埼玉県北本市西高尾 4-156、Tel・Fax 048-591-4728



塩田平を走る「れいんどリーむ号」(写真 岡田光司)



全線開通まであと 100 日、上田電鉄カウントダウン企画
始発列車出発式 2021/03/28



橋桁 (G5) の架設状況



橋桁 (G5) 完成



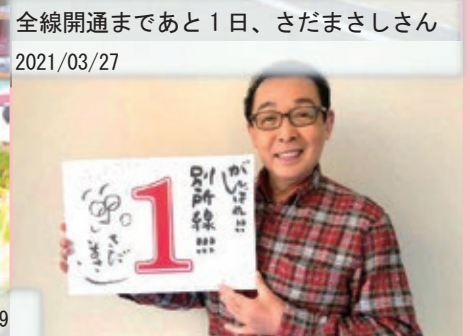
全線開通セレモニーテープカット 2021/03/28

はじめ
音楽スタジオ 肇
お問い合わせ (荻原)
090-8442-2317
keiji-1214-ogi@docomo.ne.jp
http://ameblo.jp/music-studio-hajime

中野区中野 2-12-12 勸業ビルB1F
JR中野南口より徒歩3分



ハラミちゃん Love Piano 演奏会 2021/06/19



全線開通まであと 1 日、さだまさしさん
2021/03/27



傍陽線、四日市地籍の神川橋梁跡



シェアサイクル (駅前食堂、北本原駅跡)



第15回大日向新そば祭りは2021年12月5日(日)、11時から大日向小学校跡コミュニケーション施設で開催されました。前日にゆきむら夢工房のそば道場に10卓を設け、朝から15時までに準備した手打ちの500食は見事に完売(去年は400食)、生そばも大人気、お招きした土屋市長には屋外で食していただくほどの大混雑でした。売切れで、賞味できず帰られた方々には申し訳ありませんでした。



〒386-8668 長野県上田市大手2丁目7番10号 TEL0268-25-7800 FAX0268-25-7820

日本ダボス 令和3(2021)年12月21日発行
 発行者 東京真田町の会 会長 金子 誠
 発行者住所 〒364-0035 埼玉県北本市西高尾4-156, Tel & Fax 048-591-4728
 編集 一之瀬和夫(編集長)、深町共榮
 印刷 上田市住吉:精巧堂(株)アオヤギ印刷